

助成事業完了報告書

日本財団 会長 笹川 陽平 殿

報告日付：2018年4月18日
事業名：ジュニア・ライフセービング教室の開催
および指導者養成プログラムの実施
団体名：（特非）日本ライフセービング協会
事業完了日：2018年3月31日

事業内容：

- 【1. ジュニア・ライフセービング教室/ライフセービングサポーター講習会の開催】
「ジュニア・ライフセービング教室」「ライフセービングサポーター講習会」を通じて子どもたちまたは保護者等が安全で楽しく水辺で遊ぶ方法等のウォーターセーフティ、あるいはBLS（一次救命処置）等を身につけ、またそれらを通じて人命の尊さや自然の大切さを学ぶことの出来る機会を提供し、水辺の事故防止に結び付けることを目的とした。
- 【2. 指導者養成プログラムの実施】
指導者資格の本格的な制度実施により、指導者養成を促進し海洋教育の普及をはかった。

事業成果物：

1. ジュニア・ライフセービング教室

- 目標
 - 20ヶ所×20人=400人
- 実施結果
 - 17ヶ所
 - 参加合計 888人
- 開催概要
 - 期間：2017年4月～2018年3月
 - 内容：生命教育を軸に、海の安全についての基礎知識を学び、海での自己防衛技術、人命救助術を体験。ビーチフラッグス競技、ジュニアボードレース等も実施し、海を楽しみながら安全意識の啓蒙を図った。
 - 対象：小学生・中学生、場合によってはその保護者も対象とした
 - 場所：各クラブの活動浜またはプール、学校施設等
 - 支援物件：
 - ◇ 各クラブ支援；ジュニア用ボード2本／ジュニアテキスト配布／ジュニアキャップ配布
- 実施報告

No	開催クラブ	参加数	開催日
1	岩井 LSC	17	8/11
2	大磯 LSC	20	8/1
3	大分 LSC	14	8/19, 8/22
4	大竹 SLSC	7	7/23～8/20
5	岡山 LSC	8	8/13
6	小樽 LSC	20	7/16, 8/13
7	勝浦 LSC	30	8/6
8	関門 LSC	215	6/21, 7/4, 7/20
9	京都 LSC	9	8/19

10	九十九里 LSC	16	8/11
11	辻堂 LSC	台風中止	
12	西伊豆松崎 LSC	6	7/9
13	榛原 LSC	20	7/20, 7/25, 8/11
14	萩 SLSC	447	7/17~8/20
15	盛岡 LSC	17	7/8
16	山形 LSC	22	7/29, 7/30
17	横浜海の公園 LSC	20	7/29
	合計	888	

- 得られた成果
 - ジュニア教室については、目標の400人を上回る888人となり、子供たちに海の知識や安全思想、セルフレスキュー等を普及できた。
- 成功要因
 - 単発的な教室ではなく、夏休み期間を通じた長期的な取り組みが地元の子どもたちへの啓発となり集客につながったと思われる。「萩SLSC」においては、長期間プログラムを実施することにより地元の子どもたちのリピーターであったり、海水浴場に対する安全普及のサービス向上にもつながっている好例と言える。また、「関門LSC」においては、学校教育への普及を積極的に実施しており、海だけでなく学校のプールでの実施もあらたな取り組みとして注目できる。
- 失敗要因
 - ここ数年、実施クラブの固定化が課題である。新規クラブの開拓等、今後は都道府県支部とも連携して各クラブへの積極的な申請を後押ししたい。

2. ライフセービングサポーター講習会

- 目標
 - BLS(CPR+AED)講習 100ヶ所×30人=3000人
 - Water Safety講習 100ヶ所×30人=3000人
- 実施結果
 - BLS(CPR+AED)講習 79ヶ所 5744人 により達成できた。
 - Water Safety講習 60ヶ所 7330人 により達成できた。
- 実施報告

	2017年 開催数	2017年 発行数	2016年 開催数	2016年 発行数	2015年 開催数	2015年 発行数
BLS	79	5744	86	6240	113	7502
ウォーターセーフティー	60	7330	42	5972	45	6505
合計	139	13074	128	12212	158	14007

- 得られた成果
 - ライフセービングサポーター講習会は、資格認定講習会とは異なり、体験・啓発型の講習会として時間や内容を指導員の判断で柔軟に対応できる普及講習会である。受講費用は無料であるため、企業や教育機関においても喜ばれている。
- 成功要因
 - JLA指導員には学校教員が多いため、学校内での開催が主となっている。そのため、集客やPRにあまり手間をかけずに一度に多くの人数に対して普及できた。
- 失敗要因
 - 訓練用人形とAEDトレーナーの器材不足が発生している。

3. 器材および教材の配備

- 目標

- | | |
|----------------------|-----------------|
| (1) ニッパーボードの配布 | <40本=2本×20ヶ所> |
| (2) Jrキャップの配布 | <400枚=20枚×20ヶ所> |
| (3) Jrテキスト | <3000冊> |
| (4) Water Safetyテキスト | <3000冊> |
| (5) Jrパンフレット | <3000部> |
| (6) Academyパンフレット | <10000部> |
| (7) Academyチラシ | <10000部> |
| (8) ライフセービングサポーター修了証 | <10000枚> |
| (9) ジュニア教育指導指針改訂版 | <500冊> |

- 実施結果

- (1) ニッパーボード：17ヶ所34本。残6本は本部管理。
- (2) Jrキャップ：17ヶ所470枚。不足分は過去の予備を流用した。
- (3) Jrテキスト：2730冊を配布（ジュニア教室に510冊、その他の各種事業等に2220冊）
- (4) Water Safetyテキスト：過去在庫対応（資格認定2710冊、新規指導員37冊）
- (5) Jrパンフレット：2730冊を配布（ジュニア教室に510冊、その他の各種事業等に2220冊）
- (6) Academyパンフレット：2730冊を配布（ジュニア教室に510冊、その他の各種事業等に2220冊）
- (7) Academyチラシ：過去在庫対応により製作には至らなかった。
- (8) ライフセービングサポーター修了証：13074枚（BLS/5744枚、WS/7330枚）を配布した。
- (9) ジュニア教育指導指針改訂版：改訂の検討にまで至らず製作できなかった。

- 得られた成果

- ジュニア教室はじめ、資格認定講習会、各種イベント、学校をはじめとする教育機関を通じて広く配布できた。

- 成功要因

- 手軽に配布できる教材としてジュニア教室はじめ各種事業の実施の際に配布するようにしている。ジュニアテキストは海上保安庁や日本水難救済会等の発行物の一部引用いただくなど利活用に広がりが出てきている。

- 失敗要因

- 製作物の編集作業への対応の検討が必要である。





4. 指導者養成プログラムの実施

- 目標
 - (1) 「ジュニアリーダー養成講習会」の開催
 - (2) 「指導員養成講習会」の開催
- 実施結果
 - (1) 「ジュニアリーダー養成講習会」の開催
ジュニアリーダー養成関連の「ジュニア・ライフセービング アシスタントインストラクター養成講習会」開催し、52名を要請した。

日程	会場	参加数
5月4日(木)	岩井海岸(千葉県南房総市)	29
5月14日(日)	台場区民センター(東京都港区)	6
7月15日(土)	野幌総合運動公園プール(北海道江別市)	3
8月12日(土)	岩井海岸(千葉県南房総市)	7
12月2日(土)	港勤労福祉会館(東京都港区)	3
12月10日(日)	神明いきいきプラザ(東京都港区)	4
合計		52

- (2) 「指導員養成講習会」の開催

【BLS 指導員養成講習会】

	日程	時間	会場	参加者数
A日程	2018年1月5日(金)～8日(祝月)	9:00～17:00	流通経済大学龍ヶ崎キャンパス (茨城県龍ヶ崎市)	14
B日程	2018年1月13日(土)14日(日) 1月20日(土)21日(日)	9:00～17:00	三保研修会館 (静岡県静岡市)	18
C日程	2018年2月3日(土)4日(日) 2月10日(土)11日(日)	9:00～17:00	湘南海岸公園サーフビレッジ (神奈川県藤沢市)	17
D日程	2018年2月17日(土)18日(日) 2月24日(土)25日(日)	9:00～17:00	大阪ハイテクノロジー専門学校 (大阪府大阪市)	0
E日程	2018年3月10日(土)11日(日) 3月17日(土)18日(日)	9:00～17:00	山形県総合運動公園 (山形県天童市)	7
合計				56

【サーフライフセービング指導員養成講習会】

	日程	時間	会場	参加者数
A日程	2017年4月22日(土), 5月5日(金), 6日(土)	9:00～17:00	材木座海岸/三浦海岸 (神奈川県鎌倉市/三浦市)	6
B日程	2017年4月23日(日), 29日(土), 30日(日)	9:00～17:00	南紀白良浜海岸 (和歌山県白浜町)	7
B日程	2017年4月23日(日), 5月13日(土), 14日(日)	9:00～17:00	材木座海岸/三浦海岸 (神奈川県鎌倉市/三浦市)	8
合計				21

【ジュニアライフセービング指導員養成講習会】

	日程	時間	会場	参加者数
A日程	2018年3月3日(土)4日(日)	9:00～17:00	オリンピック記念総合センター (東京都)	7
合計				7

- 得られた成果
 - 新たな指導者56名を養成した。
- 成功要因
 - 都道府県支部の協力のもと地方開催の実施が実現した。今後は各都道府県支部において指導員養成講習会が実施できるような体制が必要である。
- 失敗要因
 - 今後は各都道府県支部において指導員養成講習会が実施できるような体制が必要である。

